

「児童虐待防止と学校」研修教材

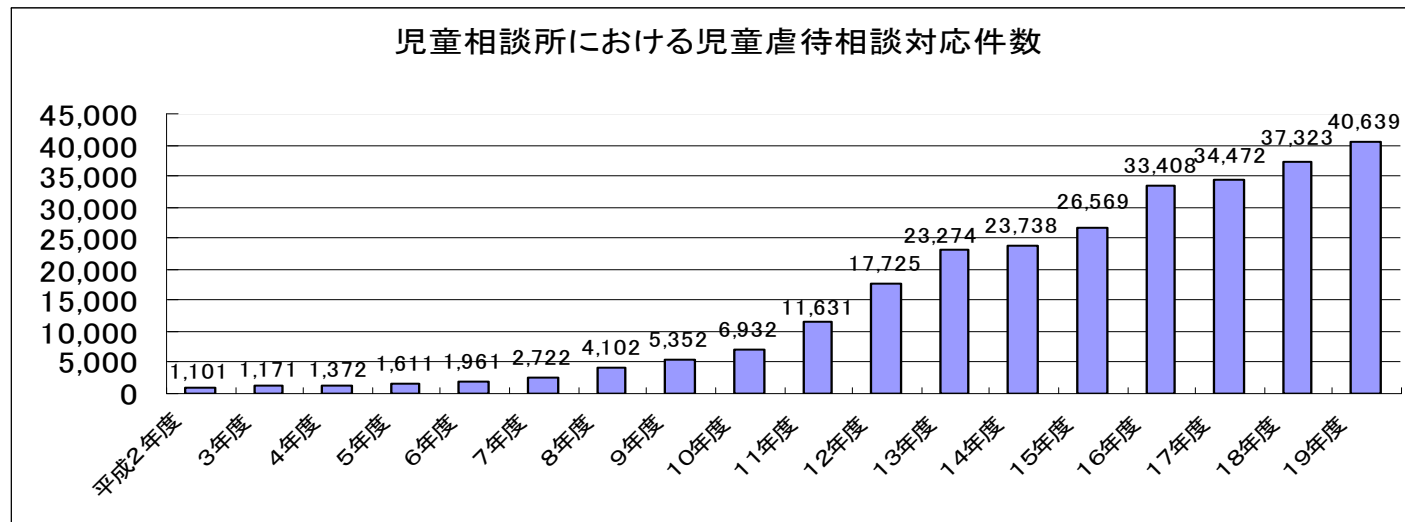
オリエンテーション

～ 最初に必ずご覧下さい～

オリエンテーション

児童虐待防止と学校

- 増え続ける児童虐待



- 虐待への対応は学校にとっても大きな課題
- 法律に定められた責務がある

教職員のすべきこと

子どもの人権を守るために

- 虐待の早期発見等の努力義務
- 虐待に関する通告の義務
- 虐待を受けた子どもの保護・自立支援のための関係機関との連携・協力

学校とのかかわり

／学校に期待される役割

- 学校は、すべての子どもに関与できる唯一のシステム
- 虐待通告後の措置としては、学校を含めた地域の社会資源による見守り・支えに委ねられるケースが8～9割
- 家庭から分離された子どもへの学校教育

児童虐待に対応するために

- 児童虐待はきわめて複雑な現象
- 虐待の問題は、さまざま人々が力を合わせることで、初めて解決可能
- 目標は「保護者と子どもの関係」を支えること
- 学校・教職員も、適切な「対応力」が必要

この教材の構成

本編

【基礎編】

- 1 虐待の基礎的理解 ～発生のメカニズムと子どもが被る影響～
- 2 虐待と子どもの心理
- 3 学校生活での現れ
- 4 虐待と生徒指導・特別支援教育
- 5 虐待関連法規

【実践編】

- 6 疑いから通告へ (学校でできること①)
- 7 虐待を聞く技術・コミュニケーションの技法 (学校でできること②)
- 8 虐待を受けた子どもへの具体的な関わり (学校でできること③)
- 9 家庭への対応 (学校でできること④)
- 10 関係機関との連携とケース会議
- 11 家庭から分離された子どもへの対応

制作：文部科学省

学校等における児童虐待防止に向けた取組に関する 調査研究会議(平成18年度)

【座長】

玉井 邦夫 山梨大学教育人間科学部助教授

【委員】

岡上 直子 練馬区光が丘さくら幼稚園長
楠 凡之 北九州市立大学文学部教授
才村 純 日本子ども家庭総合研究所ソーシャルワーク研究担当部長
鈴木 博幸 埼玉県教育局市町村支援部人権教育課主任指導主事
関口 博久 宮城教育大学教授
滝川 一廣 大正大学人間学部教授・大正大学カウンセリング研究所所長
田中 康雄 北海道大学大学院教育学研究科教授
土田 秀行 児童養護施設錦華学院院長
松澤 茂久 東京都武蔵野市立第二中学校長
松本 貴美子 大阪府茨木市立春日小学校長
山下 英三郎 日本社会事業大学専門職大学院教授

※ 所属・職は当時

オリエンテーション